令和４年度
第３回香美市まちづくり委員会会議録【概要版】

日　時　：　令和４年 10 月 27 日（木）午後６時半～午後８時 15
場　所　：　香美市役所本庁舎３階　301 会議室・302 会議室
出席者　：　まちづくり委員　12 名
　　　　　　事務局（企画財政課）３名、防災対策課２名、建設課２名、農林課２名
欠席者　：　８名

議　題

１.香美市協働推進計画（素案）について

(時間 20 分、意見は基本的に文書でお願いする。)

【資料 1】協働推進計画(素案第３回委員会用)の説明
・頁７までは、前回示したものに対して頂いた意見をもとに修正をした。その新旧対照表が資料 1-1 となる。

・頁８以降の「４・５・６」は今回初めて示した。「６」については、全容を、「４・５」は前書き部分と中項目名を載せている。次回の委員会で計画について話し合いをするので、その前に事務局として検討したり修正したりしておいた方が良い事があれば教えていただきたい。
「４・５」は今までの２回のグループワークと、 それから第３期のまちづくり委員会での話し合いなどを参考にして作成している。

【資料 2】の「10 月以降　協働推進計画策定スケジュール(案)」について説明
・次回の第４回まちづくり委員会で、計画全体について意見をもらい、それに基づいて修正をし、協働推進本部会にかけて、パブリックコメントを募集する。このパブリックコメントでも、委員の皆様から意見をもらい、その後、最終の第５回まちづくり委員会でパブリックコメントへの回答等の説明をし、完成させたいと考えている。
※次回の委員会の意見によっては、協働推進本部会の後に、もう一度委員会を開催すること等を検討する。

２.グループワーク

※各資料に基づいて担当課が説明を行った後、付箋に意見を書く等して、グループワークを行った。

健康・教育部会　「自主防災組織活動支援事業」（防災対策課）資料 4-1

(まちづくり委員による全体発表)

自主防災組織活動支援事業という、地域での防災活動の主体となる自主防災組織の育成及び活性化と、その活動に必要な施設や機材の整備を促進する事業について話し合いました。

1事業を始めるにあたっての①情報公開・共有については、行政が知っている情報を防災会に伝えてみてはどうか、という意見がありました。

②役割分担の中の、自主防災組織連絡協議会の開催については、年度当初 5 月頃に総会を開催していて、組織数が 178 あるうちの 100 強の参加者があるとのことです。その他、防災士の活用や、「思いがある人」に役割分担をしてみてはという意見がありました。

2現状認識のところですが、訓練としては、防災会でメニューを自由に決めてもらってやってみてはどうかという意見や、マニュアルを作るとか、訓練のやり方などについて、周知するように行政が動いてみてはどうか、という意見がでました。課題としては、活動が難しくなっているところがあり、活動できてないところが 5・6 か所 あるということでした。工科大の防災サークルとの連携をしていく、防災士の活動を利用できるように連携する、という意見もありました。

3事業目的の達成に向けたフィードバックの「今後に向けて」については、女性の目線を取り入れるために女性の参加を促して取り組んでいく、香美市に転入した際に地域情報を１パックにして渡す、防災士連絡会との協働・役割分担、工科大の防災サークルの活動支援、防災活動をイベント化して楽しいことをするのはどうかという意見等が出ました。

産業部会　「香美市未来の森づくり委員会(第 2 期)」(農林課)　資料 4-3

(まちづくり委員による全体発表)

香美市未来の森づくり委員会第 2 期という、香美市の森林を次世代に引き継ぐため、市民の声を広く集めて、森林の整備や林業振興につなげる委員会について議論しました。

1事業を始めるにあたっての①情報の公開と共有について、森づくり構想というのを掲げてそれを公表し、意見のある方から募るための準備を進めているところであります。

②役割分担については、それぞれの役割を今行っているところであります。

3事業目的の達成に向けてのフィードバックのところについて、市の森林利用に関するアンケートの実施について議論を行いました。素人目には、アンケートの目的や何を問われているのか、誰を対象に問われているのか、それからどこへ向かうのかというところが分からなかったので、より具体的に、アンケートの対象を誰にするのか等を明確にし、アンケートを取った後は、それをどのように活用していくかというところに繋げる必要があるという議論をしました。

また、意見募集等については、周知・アピールしていくために広報等を使うとか、概要版を作っては、という意見もありました。

それから、共通認識を深める必要があるので、知識人、関係者の方にも参画してもらい、次世代につながるような構想を、という意見も出ました。

この事業は、実はまだ始まったばかりで結果が出ていないような状況でしたので、1 番大事な情報共有と、情報発信について、どういう要素が必要なのかということについて話し合いをしました。目的を絞ったアンケート調査をする必要があるし、アンケートに対しては、きちんと答えを返していく必要があるんじゃないかという提案をしました。

あと、香美市の森林率は 89 パーセントで、90 パーセントを超すのではないか、という心配もあります。是非、この事業を市民の皆さんが理解して、たくさん協力いただいて、結果が残せるように頑張っていただきたいということも言わせていただきました。

建設・環境部会　「秦山公園子どもの広場等管理事業」（建設課）　資料 4-2

(まちづくり委員による全体発表)

秦山公園子どもの広場等管理事業という、秦山公園の管理を地元住民組織が行っている事業について議論を行いました。

まず、1 事業を始めるにあたっての①情報公開・共有については、秦山公園愛護会以外の人にも周知されているか、また、愛護会の人員募集を、その地区だけでなく、もっと広く募集するべきではないかという意見がでました。

②の役割分担については、月に 1 度は地域住民(子供たち)を巻き込んで清掃活動をしてみては、という意見がありました。

2 現状認識としては愛護会の方が 6 人という少ない人数であり、また高齢化しており、人材不足・高齢化が課題ということでした。

3 事業の目的達成に向けたフィードバックの「今後に向けて」は、収入を得る方法が今はないので、イベントを開催するなどしてはどうか、という意見が出ました。

また、愛護会の方は高齢化しているので、1 人体制から 2 人体制にする必要がないか、小学生等と一斉清掃などを行うことで、愛護会の負担が減るのではないか、子供会や PTA、老人会なども、協力する必要があるという意見も出ました。

その他、昔と変わらず公園がずっと綺麗なので、それを保つことで人が集まる空間になるのではないか、香美市以外の人への宣伝や広報も大事という意見が出ました。